

矢板・二ツがやんべ

このページでは、矢板のここが好き、ここが嫌いをまとめてみたんだけど、さてさて皆さんはどうしたい？

長峰公園は心のオアシスだつべ！
水辺ゾーンなど、整備された環境も良く、花の手入れもすばらしい。毎日来ても飽きない。タワーのてっぺんからの眺めはすばらしい。
高原山や、日光連山がはつきり見えて、ふもとに広がる町並みは、ここはどんな町だろうと心躍らせる。



自然がいいべー！
自然環境が豊かで景観がいい（高原山八方ヶ原、県民の森など）。
高原の山裾に広がる自然はすばらしい。

朝起きると、鳥の声と緑に包まれている。時間の流れがゆったりとして、あくせくしていない。四季の移ろいが実感でき、川や山が近くにあり散策、山菜取り、釣りなどなど、身近で自然を楽しめる。果物、米、野菜など美味しい農産物が食べられる。町と自然が調和している。自然と歴史がある。美味しい農産物もあつど！
水、米、りんごが美味しい。遠い親戚に贈ってあげると大変喜ばれる。東京に近い割には、のんびりした田園風景が残っている。穏やかな気候と地元の農産物がすぐ手に入る。衣・食・住にちょうど良く、暮らしやすい。水がおいしい、空気がうまい、産直野菜がいつでも食べられる。食は文化、大事にすべき。りんご畑が近くにある。

人間味のあるまちだべ！
知り合い、友達がいっぱいいる。近所の人や仲間など、親しみを感じるコミュニケーションがある。
近所のトラブルなどの事件もなく住みやすい。行政区、育成会などで地域内の学外活動が盛ん。シルバー大学の県北校がある。
矢板を本当に好きな人が多く、矢板のために献身的に活動している人たちがいる。何とか矢板を活性化させたいと思っている人たちがいる。
小さいことでも団結力がある。
良い人がたくさんいる。農村地域なのでのんびり。近所と仲よし。



人口が少ないのは良いことだ！
人が少なければその分ストレスが少ない。

車があれば遊びに出かけられる、住むところは静かなところがいい。
ほどほどの田舎
ほどほどの生活ができる。ほどほどな田舎。なぜか分らないけど落ち着く感じがして好き。
のんびりしてる。涼しい。買い物しやすい。近くに大型店があり、便利なのに静かで暮らしやすい。
矢板はゆっくり変わっている（久しぶりに来たら、大型スーパーができていて驚いた。東口は区画整理されて住宅地になっていった）。
ほどほどなところがいい。いっぱいあっていい。
自然災害が少ない！
まちなかに大きな川もなく、はんらんの心配もせずに暮らせる。

他にもあるべ！
病院・医院がたくさんある。
市長に魅力がある（矢板市を変えようとしているから）。
工場が少ない（農業が盛んだから）。

矢板・二ツがやんだ

ここからはちっときついかもしんないけど、市民の皆さんの本音、聞いとくれやね！

川崎城などの歴史。生まれ育ったまちだから。父母、祖母が生きたまちだから。これからも私が、子どもたちが生きていくまちだから矢板が好き。
なムードが漂う。街の中はスーパー付近だけで、あとは、火が消えたよう。遊ぶところ
ほしいべー！
遊ぶ施設がない、市外に出るしかない（カラオケ、ボーリングなど）。友達と一緒に盛り上がりがない。若い人にとつて矢板は不便、住む魅力がない、遊べるような場所が少ない。移動が大変。
道路、交通事情が悪かつべー！
交通の便が悪く、不便（特にバスが通っていない）。車がないと何にもできない。道が整備されていない、狭い、中途半端に急に狭くなったりカーブしている。舗装が

悪い。（多数）
道路など発展の遅れ（公共施設が矢板から出て行っている）。道が入り組んでいてわかりづらい。
東西をつなぐ道路の整備がされていないところ（整備するにしても、その計画が明らかでなく、市民にとつてわかりにくい。実行されているのか分らない）。環境線がない。
文化がおくれてっぞ！
文化面で少し遅れている。文化レベルが低い（文化的な活動がない＝演奏会、展覧会など）
文化的なものの閉鎖性、独断性。
店が少ないべー！
大型店舗が少ない。大きなデパートがない。
贈り物を選んだりなど、特別なものを買う店がない（そういうときは宇都宮や大田原へ行けばいいのだけれど）。
夜遅くまでやっている店がない。新しい商店ができない。店が少ない（多数）。

駅前にもコンビニがない。家族で楽しめる広いスペースのある場所が少ない。商店が昔からの商売の仕方を変えない（売ってあげるといふ意識が強い）。商工会と商店の関係が上手くいかない。相互協力が無い。

土地問題も
あつかな！
地主が利己的、土地を手放さない。発展しない。土地行政の問題？

これといったものはないが、街の形がすっきりしていない。

人間性は
どしたい？
協調性が

たりなかんべ！
矢板を変えたくないと思っている人が結構多い。
何かやろうとすると、足を引っ張る市民性。チャレンジさせてもくれない。
自分勝手。排他的な人間関係。まとまりに欠ける。
ふるさと祭りは昔は大通りでやってきたのに、うるさいので

長峰にしたと聞いたことがある。年に一度のお祭り、少しくらいうるさくても協力すればいいのに！その協力のなさが町の活気をなくす源では。 (若い高校生意見)。
行政に対する協力が乏しい。何でも反対が多い。市民が一つ一つの目標に一致できない。何か「一緒にこうやろう！」ということにならないところ(勝手にやればよいところ)があり、協力して何かをやるうとしない。ひがみ根性というか、先を行く人、成功した人の足を引っ張るところがある。

積極性も
たりなかんべ！
前向きの改革心がない。もう少し積極性を！一貫性がない、後手後手に回る。
今が良ければほどほどに満足してしまつて。閉鎖的だべ！
ローカル色が強すぎる(自分欲が強い人が多い)。田舎くさい、田舎人の心根(自己肯定しすぎる)。

近隣の市に負けているという劣等感を持っている人が多い(人口が少なくても矢板独自の良さを見つけてよとしない人が多い)。あまりにも発展とかに気を取られすぎて(人の土地を「ああだ、こうだ」と計画しすぎる。今のままでも十分良い)。班内のつながりがありすぎる(クシヤミをしてもみんなに知れる、病気をしたら全員が見舞いに来る)。矢板市全体が高齢のように感じられる(市を引っ張っている人材があまりいないのではと不安になる)。

人口が少ないせい、他人のことに興味本位になつてしまつて傾向にある。
コミュニケーションとれてるか？
人の話を聞かない人が多い。
何かをしようとするか否定する人がいる。人のことを気にする。人の成功を喜ばない。人間関係のすさまじい。なかなか理解されにくい。

マナー悪いぞ！、ルール守らないぞ！車の運転マナーが悪い。ルールを知らない若者が多い。自分勝手。車が一時停止しない。道路にゴミを捨てる。たばこの歩行中喫煙。暴走行為をする連中。塚原川に汚物を流す者がいる。

行政、もつと頑張つてくる！
政治力が弱い。発展がない。行政の下手なやり方。小さい市になつた、もつと中央と交渉を。保守的思想に基づいた行政。税金が高い。公共料金が安い(具体的にわかんないが、多市町村と比べてしまつ)。行政、人が旧態依然とした体質を感じる。また、何をやるにも中途半端。住宅地の小公園が少ない(遊具点検のためか、公園に立ち



入り禁止の札が掛けられっぱなしである。親の目の届くところで子どもを遊ばせた。空き地を公園にすることで、地域の防犯にもなるのではないか？)。
未だに新幹線新駅の話とが続いている。それってどうなんだろう？「右ならえ」的な人が多い。「お笑いの街」はどうなつてしまった？「カレーの街」も無理矢理こじつけた感じでいま

いち盛り上がりつつない。昨年十一月の産業物産展では、カレー屋さん1店も出店してなかった。すごく矛盾を感じます。市民力とは言うけれど、市長一人が言っているだけのよう感じる(全然変化が見られないから)。

公共施設はよ！
公共設備が十分でない(一部分だけきれいになっているが)。公共サービスに不満、特に城の湯温泉センターのサービ

ターのサービ向上を望む(民間レベルのサービをして欲しい、もつときれいにすればお客さんが入るはず)。

その他
新幹線がない。市町村合併しないところ。役所。冬の雪。虫が多い。水辺少ない。名産品がない。自治会活動がない。病院が少ない(救急小児科)。

我が町自慢・私自慢

アンケートでは、もう少しついで、「あなた自慢できること」を聞いてみました(紙面の都合で、簡単に紹介します)。
自然や環境：(矢板の自慢ダン(トツ一番) 高原山や長峰公園などの豊かな自然でした。
生活環境：ほどほどの田舎で買い物など交通のアクセスがよい。高校が3校ある、温泉があるなど、生活のしやすさ。
りんご・米など、農産物が美味しい。アップルカレ。金精川のマス池
人、人間関係：のんびりとした地域性と良い人間関係ができています。



矢板のために献身的に活動している人たちが(青年会議所、商工会、まちづくり研究所、子育てサークルなど)がたくさんいる。
個人的なこと：生き生きと自分の趣味を楽しんでいます(矢板の自然・歴史があるからその趣味「鮎釣り、水彩画、写真、古文書解読、郷土の歴史、雅楽」や、人との交流が生まれる物「ダンス、旅行」など多岐にわたりました)。
ボランティア参加、いろいろな検定資格を取ったりと活動的な高校生。省エネ、エコに関心。育成会や学校の役員で頑張ってます。
スポーツ：来年のダンスコンテストで優勝したい。サッカーが盛んで、少年チームが頑張っている。
こんな皆さんの自慢を今後のかわら版作りのヒントにさせていただきます。